

パブリックコメント結果

令和2年1月～2月にかけて、第2期案（12月5日有識者会議資料）を公開し、第2期案に対し、市民等から意見が寄せられましたのでご報告します。

- ・意見募集期間 令和2年1月8日（水）～同年2月7日（金）
- ・募集結果 2名

該当箇所等	ご意見の要旨	市の考え方	対応
総合戦略全体に対する意見	<p><対策前提></p> <p>人口増対策として、交通インフラの整備により企業誘致、雇用確保を図り、安定した生活のもと、子供から高齢者まで安心して暮らせる仕組みづくりを主とすべきと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本広域でも休耕地が増えている現状であるが、休耕地の有効活用 ・インフラ整備で雇用確保、首都圏からUIJターンで転入者増 ・環境汚染をなくす前提で交通整備を含む人口増を長期スパンで実施 <p><対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本広域の合併で一貫した対策の実施 ・交通インフラの整備、新設（LRT、BRTなど） ・デマンド交通「あづみん」の定期化を拡大し、駅間連絡を容易にする ・既存交通（JR）の利用環境の整備とダイヤ・接続時間の見直し ・車の自動運転に対応した街づくり ・首都圏への交通アクセスのスピードアップを図 	<p>交通環境の充実については、市民アンケート調査の結果を見てもニーズが高い項目であり、地方創生にあたり、欠かすことのできないテーマとなります。</p> <p>ご提案いただきました、新たな交通システムの導入にあたりましては、事業着手後に頓挫することのないよう、運営主体の検討、利用者見込み、イニシャルコスト、ランニングコスト等、様々な観点での想定を行い、他の手法とも比較する中で総合的に判断していく必要があります。</p> <p>また、市町村合併につきましては、現在、関連する計画や会議等ありませんが、交通政策は、当市のみならず、広域的に取り組むべき課題ですので、今後、中核市への移行を予定している松本市等の近隣自治体や関係機関と連携し、この地域にとって最適といえる結論を導き出したいと考えております。</p> <p>その他、ご提案をいただいております、土地利用、移住定住促進、子育て世帯への支援充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のあり方の検討を総合戦略の取り組みとして設定します。

該当箇所等	ご意見の要旨	市の考え方	対応
	<p>る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通インフラの整備を条件に、通勤通学の公共交通利用の条例制定 ・地域道路政策の改善（バイパス新設、安心して歩ける街づくり） ・新たなモビリティサービス（MaaS）の導入 ・小中高一貫教育、大学までの教育機関充実による優秀な人材の確保 ・子育て支援 ・安曇野市への移転者（UIJターン）について（市民一人ひとりへ依頼、市としてのPR活動） 	<p>等につきましても関係部局と共有し、総合戦略への掲載を検討してまいります。</p> <p>（総合戦略は策定後も検証を行い、必要に応じ見直しを行います）</p>	
<p>総合戦略全体に対する意見</p>	<p>各部署が所管の中で具体的取組（事業）をそれぞれ挙げてはいるが、骨太かつ統一された方向性が見えない。</p> <p>④に関する主要施策が3つあるが、「スポーツ活動の充実」だけでなく、「文化活動」も入れて、「スポーツ活動・文化活動の充実」とできないか。</p> <p>スポーツが苦手な人やスポーツができなくなった高齢者にとっては、芸術・文化・音楽などの文化活動が充実することは、人と繋がりができて安心して暮らし続けることになる。スポーツ活動だけではバランスが悪いのではないか。</p>	<p>総合戦略の策定や効果検証のため設置している「安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」において、第2期総合戦略は、総花的な計画とはせず、人口減少の克服という計画趣旨に直結する施策に的を絞り、集中して取り組むべきという意見がありました。</p> <p>これを受け、庁内で検討した結果、第2期では、これまでの取り組みの継承を前提としながらも、内容の整理及び施策の選択と集中を策定方針として定め、検討を重ねてまいりました。</p> <p>（総合戦略の有無に関わらず継続的に取り組む事項は原則として対象外とし、戦略5か年で何らかの変化・成果が期待できる項目を対象としました）</p> <p>また、文化活動の充実につきましては当市固有の財産であり、取組内容によっては地方創生</p>	<p>・総合戦略当初からの掲載はいたしません。が、戦略期間中（R2～R6）に必要な応じ事業の追加等の見直しを行います。</p>

該当箇所等	ご意見の要旨	市の考え方	対応
		<p>につながるものと考えます。第2期当初からの取組み予定はございませんが、検討の上、必要に応じて総合戦略期間中（R2～R6）の見直しを検討します。</p> <p>「骨太かつ統一された方向性」につきましては、総合戦略の実行過程で検証を重ねること、戦略全体の磨き上げを図ってまいります。</p>	
総合戦略全体に対する意見	<p>◆目標人口に対する施策に関する意見</p> <p>合計特殊出生率を上げる取り組みには、子育て支援に加え、若い世代の定着と若い世代が婚姻することが欠かせないが、その対策が不十分。</p>	<p>重要な観点と考えますので、総合戦略の実行過程で検証を重ね、総合戦略全体の磨き上げを図ってまいります。</p>	<p>・ 戦略期間中（R2～R6）に必要に応じ事業の追加等の見直しを行います。</p>
総合戦略全体に対する意見	<p>◆主要施策にも、具体的取組（事業）にも掲載がないもので、重要と思われるもの</p> <p>・ 文化活動の充実について、一切掲載されていないので、バランスが悪い。例えば、「スポーツ活動及び文化活動の充実」と、主要施策に掲げ、事業内容にも明確にすべきではないか。</p>	<p>・ 文化活動の充実につきましては当市固有の財産であり、取組内容によっては地方創生につながるものと考えます。第2期初年度の予定はございませんが、今後、総合戦略への掲載を検討してまいります。</p>	<p>・ 総合戦略当初からの掲載はいたしません、戦略期間中（R2～R6）に必要に応じ事業の追加等の見直しを行います。</p>

該当箇所等	ご意見の要旨	市の考え方	対応
	<p>・子どもの発達不安の解消 アンケートでは、不安率が非常に高いにも拘らず、施策に掲げられていないのは何故か。また具体的な取組を検討してほしい。</p> <p>・女性がいきいきと活躍できるまちづくりの推進 女性の管理者増加、男性の育休取得の推進、女性の就労率増加等を、具体的取組に掲げてはどうか。</p>	<p>・子どもの発達不安の解消につきましては、総合戦略の掲載有無に関わらず継続的な実施が必要と考えられますので、5か年限定の取り組みである総合戦略への掲載はいたしません。なお、他計画となりますが、実施計画（2020～2022）において、「令和2年度重点事業」として支援の充実を図ることとしております。</p> <p>・第2次安曇野市総合計画前期基本計画の基本施策「労働・雇用対策の推進」に沿った取り組みを基本とします。</p>	<p>・他計画に基づき実施してまいります。</p> <p>・他計画に基づき実施してまいります。</p>
<p>・基本目標「新たな雇用を生み出す」</p>	<p>◆主要施策に記載があるが、具体的取組（事業）が明確でないもの</p> <p>・起業への対策 主要施策に14人増加をうたっているが、具体的取組（事業）には、新規起業者を増やすための事業が具体的に書かれていないので、事業に落とすべきである。</p> <p>・戦略的な地域ブランドの創出とあるが、具体的な取組がない。例えば、ワイン特区、農産物出荷額などを具体的な目標に掲げ、ブランド化できる製品の育成を事業に掲げるべきではないか。人気の出荷産品が増えること、出荷額が増えるということを通して、魅力ある地域として、雇用・移住</p>	<p>・空き店舗対策及び創業実現セミナーを具体的な取組（事業）により新規起業者を創出していく考えです。</p> <p>・第2期総合戦略当初からの掲載はいたしません。今後、ご提案の観点からも検討し、必要に応じ総合戦略を見直します。</p>	<p>・原案のとおりとします。</p> <p>・総合戦略当初からの掲載はいたしません。戦略期間中（R2～R6）に必要な応じ事業</p>

該当箇所等	ご意見の要旨	市の考え方	対応
	<p>の増加につながるはずである。</p>		<p>の追加等の見直しを行います。</p>
<p>・主要施策「移住・定住の促進」「労働・雇用対策の推進」</p>	<p>◆主要施策がペンディングで、具体的取組（事業）にも明確でないもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクール事業に関して ・労働・雇用対策の推進について 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクール事業に関して 事業の実施により、子どもたちに地域の一員として自覚と存在意義を育んでいただくこと、また、成長後も当市が地理的にも社会的にも「故郷」として、寄り添い、繋がりを感じてもらえる存在であり続けたいという考えから総合戦略への掲載を予定しています。 労働・雇用対策の推進として、実践型業務研修による正社員化支援事業を具体的取組（事業）として位置づけを予定しています。 ※KPIについて、明確に進捗管理するため「松本ハローワーク管内若年層就職率」を変更し、「実践型業務研修による就業者数」を指標として設定し、若い世代や女性の定着に寄与していきたいと考えます。 ※主要施策の名称「労働・雇用対策の推進」について、基本目標①「新たな雇用を生み出す」 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載する方向で調整します。 ・掲載する方向で調整します。

該当箇所等	ご意見の要旨	市の考え方	対応
		<p>の関連施策と明確に区別するため、表現の変更を検討しています。</p>	
<p>基本目標「安心して出産し子育てできるまちをつくる」「人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる」</p>	<p>◆具体的取組（事業）に掲載があるが、主要施策に掲載がないため、戦略目標として中途半端であると思われるもの</p> <p>・結婚支援、出産について、事業欄にはあるが、主要施策欄には記載がない。安曇野市の自然増が減少している背景には、「婚姻率」と「合計特殊出生率」の低迷が原因である。主要施策に「婚姻率」と「合計特殊出生率」の改善目標を掲げ、更に突っ込んだ事業内容を策定すべきである。基本目標にある「自然増減数の現状維持」を戦略的に取り組まないと実現困難ではないか。</p> <p>・公共交通のあり方は、事業欄には検討、とあるが、主要施策欄には記載がない。免許返納が出来</p>	<p>・結婚や出産は、人口問題には欠かせないテーマと承知しておりますが、目標以上に、個々人の尊厳を大切にすべき内容という思いがあり、目標としての設定は見送らせていただきました。</p> <p>今後の施策の方向としては、課題解決の手法として補助制度によることなく、市民が結婚し、出産し、子育てしたいと自然に感じることでできる環境づくりを包括的に進めることが重要と捉えています。</p> <p>なお、合計特殊出生率は、これまで国において5年間隔で公表されてまいりましたので、毎年実績を確認することで進捗管理を行う総合戦略への掲載ではなく、現在（R2.2）改訂作業をしております「安曇野市人口ビジョン」への掲載を予定しています。</p> <p>・公共交通の充実は、移住・定住施策の推進にあたり欠かすことのできない事項と考えてい</p>	<p>・「合計特殊出生率」は「安曇野市人口ビジョン」で掲載予定です。</p> <p>・公共交通の目標設定は、交通</p>

該当箇所等	ご意見の要旨	市の考え方	対応
	<p>ないといった高齢者の切実な声もある。主要施策欄に「公共交通利用者 20%増」「免許返納できない高齢者の割合 30%削減」などの具体的な数値を掲げ、事業内容をよく検討すべきである。</p>	<p>ます。まずは検討を進め、具体的な目標設定が可能な段階となりましたら、掲載を検討します。</p>	<p>体系の構築とセットで検討します。</p>
<p>主要施策「観光の振興、戦略的な地域ブランドの創出」</p>	<p>・観光の振興、戦略的な地域ブランドの創出、について、外国人延宿泊者数の増加を掲げているが、昨今の外交問題、ウィルス蔓延などの状況を見ると、外国人頼みの目標は変動要素が多過ぎて不適切。姉妹都市等からの来訪者数など、実現の可能性が高いものを施策に掲げるべきではないのか。</p>	<p>・外国人旅行者の誘致に関する取り組みについては、ここ数年右肩あがり推移していることから観光政策として推進すべき項目と捉えています。また、国内旅行者を対象とした取り組みにつきましても、総合戦略に記載予定です。</p>	<p>・原案のとおりとします。</p>
<p>主要施策「スポーツ活動の充実」</p>	<p>・自転車に関することが殆どだが、スポーツ環境が整っていると感じる市民の割合の低さ(28.5%)を改善できないのではないのか。 例えば有酸素運動であればウォーキングや水泳ができる環境を望む市民も多いのではないのか。</p>	<p>・第2期総合戦略当初からの掲載はいたしません。今後、ご提案の観点からも検討し、必要に応じ総合戦略を見直します。</p>	<p>・総合戦略当初からの掲載はいたしません。戦略期間中(R2~R6)に必要な応じ事業の追加等の見直しを行います。</p>

該当箇所等	ご意見の要旨	市の考え方	対応
KPI「区への加入世帯数」	<p>◆区への加入促進について</p> <p>区の制度運用や制度自体を見直すことも含めて、区をやめていく人が多い理由（費用、公民館とダブルで役が回ってくることへの負担）への対策をとるべきでないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の継続・充実にあたり、区の負担軽減について引続き検討してまいります。 ・区での部制度導入を支援し、市民一人ひとりが主体的に取り組む事により、地域課題の解決や地域づくりを図ってまいります。 ・まちづくり推進会議や区長会での検討を踏まえ、区の意義や重要性の理解促進に努めてまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原案のとおりとします。
KPI「地区防災訓練の実施率」	<ul style="list-style-type: none"> ・区の加入率が下がる中、区の単位での防災訓練が前提では、防災訓練に参加しない市民は増える一方でないか。市民全員が防災訓練に参加できるしくみを検討できないか。また市民の防災意識を向上させる取組も必要でないか。避難困難者へのきめ細かな避難計画も必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では総合防災訓練や出前講座を実施しておりますが、市の取り組みだけではなく、各地域の防災活動の要「自主防災組織」による取り組みの推進を図ることで、防災意識の底上げ及び地域毎のきめ細かな支援につなげてまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原案のとおりとします。